

# ログハウスおよびベゴニア温室周辺の植栽と新規に導入した植物について(平成22年度)

泉川康博・島田有紀子

## はじめに

平成元年にログハウスが完成して以来、温かみのある外観にマッチする植栽を目指し、年々少しずつではあるがログハウス周辺整備が進められてきており、現在は花木、バラ、宿根草等を織り交ぜた季節感のある庭園となっている。

平成22年度は、ベゴニア温室周辺とその南側に位置するケヤキ広場も一体的に管理することとなり、それらの場所も含めた植栽(図)と新規に導入した植物(表)について記し、管理上の問題点について考察した。

## 新たな植栽空間の整備

### 1. ケヤキ広場西スロープ脇(東)花壇(図のA)

枕木で囲った約1m×10mの細長い植栽空間を整備した。土壌にはベゴニアで使用済みの廃土を混入した。ベゴニアの土はピートモスを主体としたもので、廃土といっても十分な土壌改良効果と肥料分の残効があり、土壌病害の心配も少ないと思われる。これまではベゴニアの廃土はその多くを廃棄していたが、今後は外花壇への客土として有効に活用していきたい。この植栽空間はクリスマスローズを主体とした宿根草花壇とした。

### 2. ログハウス北西花壇(図のB)

耕運後、柵板で囲い、土壌改良にバークを投入した約1m×4mの植栽空間を整備した。ここにはアメリカリョウブ、カシワバアジサイ等の花木と、ユリ、ギボウシ、キバナアキギリ等の宿根草を植栽した。

### 3. ログハウス西側の花木エリア(図のC)

新規の整備ではないが、花木の株間に草花を植栽



写真1. ログハウス南西側のクリスマスローズ花壇

できるよう耕運し、バーク堆肥、ベゴニアの廃土を投入した。平成22年度の夏にホウセンカとガーベラを植栽し、ホウセンカが枯れた後の秋からはワイルドフラワー(ハイドロミックス:タキイ種苗)の播種、クリスマスローズ、その他の宿根草の植栽を行った。

### 4. ログハウス南西側(図のD)

もとはケヤキに囲まれた15mほどの楕円形の空き地であった。生垣に囲まれているため、外側道路やログハウスからは直接見えず、またこれまで未整備であったこともあり、一般入園者が訪れることはほとんどなかった。

耕運後バーク堆肥を投入し、植栽空間を整備した。ここには約100株のクリスマスローズを植栽した(写真1)。夏場はケヤキの葉が鬱蒼と茂るが、開花期の冬は落葉期であるので、日差しが入り、明るい雰囲気を出せるのではないかと思う。細い通路に気づいて中に入ってもらえるように、通路の入り口部分にプリムラ・ポリアンサを列植した。

## 新規に導入した植物

平成22年度にログハウスおよびベゴニア温室周辺に新規に導入した植物を表1にまとめた。なかでも特に力を入れた植物2種類について、以下に栽培展示概要を記した。2種類とも日本に導入されてから日が浅く、栽培事例の少ないものである。

### 1. クイーンアンズポケットメロン

本種の学名は *Cucumis melo* L. で、メロン・マクワウリと同種である。果実は3~5cmほどの球形で、完熟すると縞のある橙色に変色し芳香を発する。その昔、ヨーロッパの高貴な女性が、香水代わりにこの実をポケットに忍ばせたと言われている。

鉢植えでベゴニア温室南側通路に展示した。主



写真2. 鈴なりのクイーンアンズポケットメロン

枝一本仕立てとし、親ヅルはジュートヒモに誘引した。うどんこ病が時折発生するので、葉散は必須であった。本系統は子ヅル着花性であり、親ヅルの摘心をせずとも着花結実した(マ



写真3. クイーンアンズポケットメロンの果実の展示

クワウリのいくつかの系統は孫ヅル着花性)。

8月中旬から9月下旬にかけて鈴なりに実が成り(写真2)、収穫した果実はベゴニア温室前に展示した(写真3)。入園者が果実を手にとって香りを楽しむ姿が多く見られ、概ね好評であったと思う。

大量の種子が得られたため、秋のグリーンフェア・開園記念日に、種子の無料配布を行った。

## 2. サルビア 'あやのピーチ'

*Salvia splendens* Ker Gawl. の中ではめずらしいピンク色の花を咲かせる高性品種で、日本では平成21年から普及が始まった。導入した1株は、ログハウス北入口の観賞鉢に植栽した。6月下旬から7月にかけて開花し、酷暑期には切り戻しを行った。9月下旬から再び開花し10月下旬まで続き、最終草丈は80cmほどになった(写真4)。

このほか、前年に導入株から採取した種子による繁殖も行ったが、一般品種より長期の栄養成長期



写真4. 満開のサルビア 'あやのピーチ'

が必要であるためか、開花は大幅に遅れ10月下旬からとなった。本種は耐寒性が弱いため、11月下旬に挿芽を行い、温室内で越冬させることとした。また、平行して採種も行った。

## 管理上の問題点

### 1. ケヤキの根による害

ケヤキ広場は、春から秋にかけてケヤキの葉が生い茂るため地表面は日陰となる。そのため日陰に耐

えるクリスマスローズとガーデンシクラメンなどを数年前から植栽してきた。この2種類はどちらも地中海地方原産の宿根草で、生育期がケヤキの落葉期にあたることから、ケヤキと競合しにくいのではないかと推察された。

一方、夏の観賞用として、ギボウシなど数種の宿根草類を追加で植栽した。しかし、夏場は連日のように灌水したにもかかわらず、乾燥害が目立つようになり十分な生育ができなかった。これは、ケヤキの根が水分を地表面から奪ったためで、ケヤキの根は切断してもすぐに回復し、根本解決には至らなかった。他方、クリスマスローズとガーデンシクラメンは比較的生育障害を受けなかった。

今後、ケヤキの株元には上記2種類のような、生育期が秋冬で夏場の乾燥に耐える半日陰向きの宿根草を主に植栽し、ギボウシ等夏場に水分要求量の多い宿根草はケヤキの株元から遠い位置に移植していくこととする。

### 2. 土壌について

ログハウス周辺の土壌はやや粘土質の真砂土となっており、水はけが悪く、また灌水により表土が目詰まりを起こしやすく、今年度は梅雨明け後の猛暑時に、宿根草が相次いで立ち枯れをおこした。そこで、土壌改良が必要と考えパーク堆肥やベゴニアの廃土を土壌に投入し、さらに表土もパーク堆肥で被覆したところ、灌水による表土の目詰まりは見られなくなり、その後に植栽した宿根草も順調に生育した。しかしこれまでではパーク堆肥の投入量が足りず、十分な改良効果が得られなかった箇所があるので、引き続き土壌改良に取り組んでいきたい。

### 3. 除草について

バラや宿根草を主とした植栽のため、機械除草しにくいエリアが多く、人の手による除草に頼っていたが、間に合わないことがしばしばあった。パーク堆肥を表土に敷き詰めたところ、雑草の生育が効果的に抑えられるとともに、表土の乾燥と雨天時の流出を防ぎ植栽植物の根系を守る効果が認められた。

### 4. 薬害について

サルビアに対し、コナジラミ防除を目的としてトルフェンピラド(商品名:ハチハチ乳剤)を散布したところ、強い薬害を生じ、メーカーのHPにシソ科植物(しそ、サルビア等)にかかると薬害を生じる恐れがあると案内されていたことに後日気づいた。

サルビア類は、園内で多く植栽されていることか

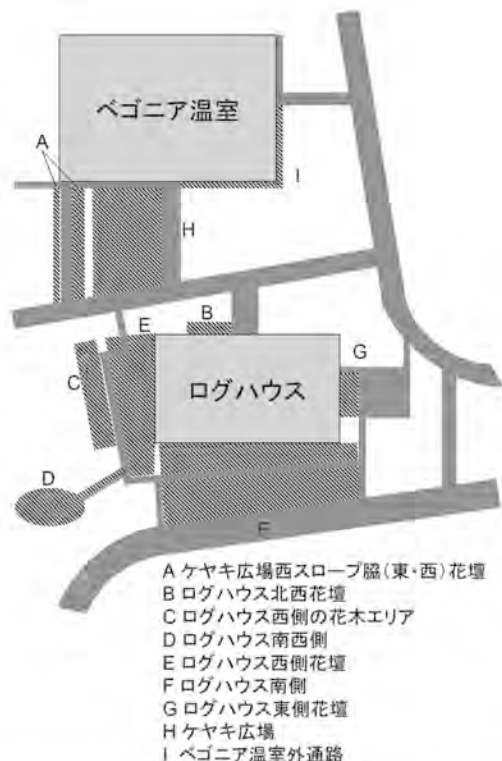


図. ログハウスおよびペゴニア温室周辺の見取り図

ら、今後は薬剤選定に留意するとともに、職員間でも情報を共有することとしたい。

### 終わりに

ログハウスおよびペゴニア温室周辺は、場所によって高低差、日照、水環境が異なる変化に富んだ環境となっており、それぞれの場所の微気候に合わせた植物の選定を心がけるように留意したい。また、めずらしいが家庭園芸にぜひ取り入れて欲しい新規植物や、植栽アイデアを積極的に紹介するエリアとして位置づけ、今後も植栽を充実させていきたい。

表. ログハウスおよびペゴニア温室周辺に新規に導入した植物（平成 22 年度）

学名	和名・品種名・流通名など	植栽箇所
<b>一年草</b>		
<i>Antirrhinum majus</i>	キンギョソウ	E
<i>Alternanthera</i> cv.	アルテルナンテラ 'マーブルクイーン'	F
<i>Cucumis melo</i>	クイーンアンズポケットメロン	I
<i>Cucumis sativus</i>	キュウリ 'ホワイトワンダー'	I
<i>Cucurbita pepo</i>	ズッキーニ	I
<i>Lycopersicon esculentum</i>	ミニトマト 4 品種	I
<i>Ocimum basilium</i>	バジル	I
<i>Solanum hybrida</i>	観賞用ナス 'センセーション'	I
<i>Solanum melongena</i>	ゼブラナス 'リスターダ デ ガンディア'	I
<i>Talium crassifolium</i>	ハゼラン	F
<b>多年草</b>		
<i>Ageratina aromatica</i>	アメリカフジバカマ	A, H
<i>Alchemilla alpina</i>	アルケミラ・アルピナ	G
<i>Alchemilla caucasica</i>	アルケミラ・コーカシカ	G
<i>Anemone coronaria</i>	アネモネ	E
<i>Carex</i> cv.	カレックス 園芸品種	E, F
<i>Carex siderosticta</i>	タガネソウ	A
<i>Cistus</i> sp.	ハンニチバナ科の一種	D
<i>Cosmos atrosanguineus</i> x <i>sulphureus</i>	チョコモス 'ショコラ'	E
<i>Cyclamen hederifolium</i>	シクラメン ヘデリフォリウム	D
<i>Cyclamen persicum</i>	シクラメン ドレッシェーシリーズ	H
<i>Dahlia</i> sp.	ミルキーコスモス	E
<i>Echinacea purpurea</i>	エキナセア	E
<i>Euphorbia</i> cv.	ユーフォルビア	F
<i>Fragaria x ananassa</i>	オランダイチゴ	C
<i>Fragaria vesca</i>	ワイルドストロベリー (白実)	A
<i>Gerbera</i> cv.	ガーベラ	C
<i>Helianthus salicifolius</i>	ヤナギバヒマワリ	F
<i>Helleborus</i> cv.	クリスマスローズ オリエンタリス系 16 品種	A, B, C, D, E, H
<i>Helleborus niger</i>	クリスマスローズ 'ダブルファンタジー'	C
<i>Hemerocallis dumortieri</i>	ヒメカンゾウ	A
<i>Heuchera</i> cv.	ヒューケラ 4 品種	A, E

学名	和名・品種名・流通名など	植栽箇所
<i>Hosta</i> cv.	ホスタ園芸種 28 品種	A, G, H
<i>Hosta longipes</i>	イワギボウシ	A
<i>Hosta kikutii</i> var. <i>caput-avis</i>	ウナズキギボウシ	A
<i>Hosta plantaginea</i>	マルバタマノカンザシ	A
<i>Hosta pycnophylla</i>	セトウチギボウシ	G
<i>Hosta sieboldiana</i>	オオバギボウシ	B, G, H
<i>Hylotelephium maximum</i>	ベンケイソウの一種 (フランス産)	F
<i>Hylotelephium</i> sp.	ベンケイソウの一種 (四国産)	F
<i>Iris pallida</i>	ニオイイリス	E
<i>Lamiaeum galeobdolon</i>	ラミアストラム	C
<i>Lavandula</i> cv.	ラベンダー 園芸品種	F
<i>Lythrum anceps</i>	ミゾハギ	H
<i>Mecardonia</i> spp.	メカルドニア 2 種 (宿根性)	C, E, F
<i>Melissa officinalis</i>	レモンバーム	A, C
<i>Mentha</i> spp.	ミント 9 品種	A, E
<i>Primula</i> cv.	プリムラ 8 シリーズ	A, B, C, D, I
<i>Prunella vulgaris</i> subsp. <i>asiatica</i>	ウツボグサ	A
<i>Salvia aethiops</i>	サルビア・エチオピス	E
<i>Salvia apiana</i>	サルビア・アピアナ	I
<i>Salvia azurea</i>	サルビア・アズレア	C, E, I
<i>Salvia chamelaeagnea</i>	サルビア・カメレアグネア	F
<i>Salvia dichroantha</i>	サルビア・ディクロアンサ	A, C
<i>Salvia farinacea</i> x <i>longispicata</i>	サルビア 'ミスティック スパイヤーズ ブルー'	F
<i>Salvia farinacea</i> x <i>longispicata</i>	サルビア 'インディゴ スパイヤー'	E, G
<i>Salvia glabrescens</i>	アキギリ	A, B
<i>Salvia gultinosa</i>	ジュビターズディスタフ	A, C
<i>Salvia hispanica</i>	サルビア・ヒスパニカ	E
<i>Salvia japonica</i>	キバナアキギリ	A, C
<i>Salvia madrensis</i>	サルビア 'イエローマジスティアー'	C, E, G, I
<i>Salvia melissodora</i>	グレープセンテッドセージ	C, E
<i>Salvia microphylla</i>	チェリーセージ 'ホットリップス'	E, G
<i>Salvia miltiorrhiza</i>	タンジン	C
<i>Salvia miniata</i>	サルビア・ミニアタ	G, I
<i>Salvia omerocalyx</i>	タジマタムラソウ	B, G
<i>Salvia reptans</i>	コバルトセージ	E
<i>Salvia splendens</i>	サルビア 'あやのピーチ'	B, F, G, I
<i>Salvia splendens</i>	サルビア 'バン ヒューティー'	G, I
<i>Salvia verbenaca</i>	ワイルドクラリー	A, C
<i>Salvia viridis</i>	ペインテッドセージ	C
<i>Thymus serpyllum</i>	クレーピングタイム	G
<i>Trautvetteria carolinensis</i> var. <i>japonica</i>	モミジカラマツ	A
<i>Viola hederacea</i>	ツタバスマレ	G
<b>木本</b>		
<i>Hydrangea hirta</i>	コアジサイ	B
<i>Hydrangea serrata</i>	ヤマアジサイ '愛染'	B
<i>Lonicera morrowii</i>	ヒョウタンボク	B